

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	国語	履修形態	必修	学科	看護科														
科目名	現代の国語	単位数	2	学年	1年														
<b>教科書・副教材・(発行所)</b>																			
① 教科書：新編現代の国語（東京書籍） ② 副教材：新編現代の国語 学習課題ノート（東京書籍） ③ 副教材：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④																			
<b>学 習 の 重 点 目 標</b>																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																			
	<b>知識・技能</b>			<b>思考・判断・表現</b>			<b>主体的に学習に取り組む態度</b>												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施												
	②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字について的小テストを実施			②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施															
<b>評 価 の 基 準</b>																			
	<b>A（十分満足できる状況）</b>			<b>B（概ね満足できる状況）</b>			<b>C（努力を要する状況）</b>												
				<b>B+</b>		<b>B-</b>													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができる。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。												
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
<b>★期末考査</b>																			
<b>総 時 間 数</b>																		<b>64</b>	

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語	履修形態	必修	学科	看護科											学 習 内 容	時数	
科目名	言語文化	単位数	2	学年	1年													
教科書・副教材・(発行所)																		
① 新編言語文化 (東京書籍) ② 新編言語文化 学習課題ノート ③ 常用漢字ダブルクリア 四訂版 (尚文出版) ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。生涯にわたり社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問					①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施					①授業中の態度や意欲							
	②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字について的小テストを実施					②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施					②提出物の内容 プリント・副教材							
										③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施								
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストで80点以上の得点である。					定期考査と小テストで55点～79点の得点である。			定期考査と小テストで30点～54点の得点である。			定期考査と小テストで29点以下の得点である。						
思・判・表	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように的確に表現することができている。					知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように表現することが概ねできている。					表現したいことを明確にしたり、自分の体験や思いが伝わる表現をしたりすることがあまりできていない。							
	レポート作成やグループワーク、意見発表を通して、的確に批評、論述、発表、討論、批評などをすることができている。					レポート作成やグループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることが概ねできている。					レポート作成グループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることがあまりできていない。							
主体性・態度	常に粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。					真面目に学習に取り組んでいるが、積極性を要する部分がある。					主体的に学習に取り組むことがあまりできていない。							
	振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かして自己を向上させることが継続的にできている。					振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かすことが概ねできている。					振り返るべき内容を考えたり表現したりすることだできておらず、自己を向上させる姿勢が見られない。							
総 時 間 数																60		

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	公民	履修形態	必修	学科	看護科											
科目名	公共	単位数	2	学年	1年											
<b>教科書・副教材・(発行所)</b>																
① 教科書：公共（実教出版）																
②																
③																
④																
<b>学 習 の 重 点 目 標</b>																
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。																
<b>知識・技能</b>			<b>思考・判断・表現</b>				<b>主体的に学習に取り組む態度</b>									
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問			①レポートの内容 探究課題レポートを実施				①授業中の態度や意欲								
	②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施			②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施				②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施								
<b>評 価 の 基 準</b>																
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)									
			B+		B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現できている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現できている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。								
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。								
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。								
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。								
<b>総 時 間 数</b>															<b>57</b>	

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	数学		履修形態	必修	学科	看護科	D	学	進	進	文	文	理	護				
科目名	数学 I		単位数	3	学年	1年												
<b>教科書・副教材・(発行所)</b>																		
① 教科書：新編数学 I (啓林館：数 I 710) ② 問題集：ステップアップノート数学 I (啓林館) ③ ④																		
<b>学 習 の 重 点 目 標</b>																		
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ② 家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	① 定期考査の出来具合 問題集の内容を中心に作問 ② 小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分間小テストを実施			① 課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施 ② グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施			① 授業中の態度や意欲 ② 提出物の内容 配信課題・問題集 ③ 自己評価・振り返り 配信課題や考査後に自己評価や振り返りを実施											
	<b>評 価 の 基 準</b>																	
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											
				B+			B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
<b>総 時 間 数</b>																		

第1学期  
4月～5月  
6月～7月  
第2学期  
8月～9月  
10月～11月  
第3学期  
12月～1月  
2月～3月

第1章 数と式  
第1節 整式  
第2節 実数

★中間考査

第1章 数と式  
第3節 1次不等式

第2章 集合と命題  
第1節 集合と命題

★期末考査

第3章 2次関数  
第1節 関数とグラフ  
第2節 2次関数の最大・最小

★中間考査

第3章 2次関数  
第3節 2次関数と方程式・不等式

第3章 図形と計量  
第1節 鋭角の三角比

★期末考査

第3章 図形と計量  
第2節 鈍角の三角比  
第3節 図形の計量

第5章 データの分析  
第1節 データの整理と分析  
第2節 データの相関  
第3節 統計的な見方

★期末考査

7  
6  
1  
6  
9  
1  
11  
5  
1  
10  
6  
1  
6  
8  
6  
3  
3  
1  
91

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科	履修形態	必修	学科	看護科											学 習 内 容	時数		
科目名	科学と人間生活	単位数	3	学年	1年										第1学期	4月	第1部 第1章 ヒトの生命現象 A タンパク質と遺伝子 B ヒトの視覚と光 C 血糖濃度の調節 D 免疫	1 2 2 2	
教科書・副教材・(発行所)																5月	【中間考査】	1	
① 教科書：高等学校 科学と人間生活 (啓林館) ② 副教材：科学と人間生活の学習ノート (啓林館) ③ ④																第2学期	6月	第1部 第2章 微生物とその利用 A 生態系における微生物 B 微生物と人間の食生活 C 微生物と医学への利用	3 4 5
学 習 の 重 点 目 標																	7月	第2部 第1章 材料とその利用 A プラスチック 【期末考査】	4 1
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める																第3学期	8月	第2部 第1章 材料とその利用 B 金属 C セラミック D 資源の再利用	5 4 5
評 価 の 基 準																	9月	第2部 第2章 衣料と食品 A 衣料の科学 【中間考査】	5 1
評 価 の 趣 旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第4学期	10月	第2部 第2章 衣料と食品 B 食品の科学	6						
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施				11月	第3部 第1章 光の性質とその利用 A 光の進み方 B 光の波としての利用 C 電磁波とその利用 【期末考査】	6 6 3 1						
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)			第5学期	12月	第2部 第2章 熱の性質とその利用 A 熱とは何か B エネルギーの利用	4 3						
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				1月	第4部 第1章 太陽と地球 A 身近な天体～太陽と月～ B 潮の満ち引き C 太陽放射と地球	2 2 2						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			第6学期	2月	第4部 第1章 太陽と地球 D 大気の運動	3						
	発展的な内容も意欲的に学習し、身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。			発展的な内容も学習し、ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。			発展的な内容を学習することができていない。				3月	第4部 第2章 自然景観と自然災害 A 河川のはたらきによる景観と災害 B 地震による景観と災害 C 火山による景観と災害 【期末考査】	3 5 3 1						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言できている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。			総 時 間 数		95							
	振り返るべき内容をきちんと考え、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容は考えられているが、次の取り組みに活かすことがあまりできていない。			振り返るべき内容をあまり考えられていない。												

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	保健体育	履修形態	必修	学科	看護科													
科目名	体育	単位数	2	学年	1年									●	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト①・高校生体操	1 6
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：現代高等保健体育（大修館書店） ② 副教材：アクティブスポーツ Active Sports [総合版] 2022（大修館書店） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																		
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①競技ごとに実施する実技テストの出来具合 ②試合形式のゲームでの評価 ③定期考査の出来具合(3学期のみ)			①グループ活動への取り組み ゲームに向けての作戦や技術習得に向けたグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②自己評価・振り返り 実技テストやゲームを行った際に振り返りを実施			第2学期	8月 ～ 9月	スポーツテスト② 陸上競技 ハードル走・砲丸投げ						4 7
	評 価 の 基 準											第3学期	10月 ～ 11月	ダンス・武道				
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)												
知・技	実技テスト、定期考査(3学期のみ)の合計が80点以上であり、基本的な技術が習得できている。			実技テスト、定期考査(3学期のみ)の合計が55～79点である。			実技テスト、定期考査(3学期のみ)の合計が30～54点である。			第3学期	12月 ～ 1月	ハンドボール パス・ドリブル・シュート						10
	グループ活動や課題となる技術習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。			グループ活動や課題となる技術習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			グループ活動や課題となる技術習得にあまり取り組むことができていない。					第3学期	2月 ～ 3月	○実技テスト				
思・判・表	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			第3学期	2月 ～ 3月			○実技テスト				
	技術習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					第3学期	2月 ～ 3月	●期末考査				
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
	総 時 間 数																55	

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	芸術	履修形態	選択必修	学科	看護科														
科目名	音楽 I	単位数	2	学年	1年									●					
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ ( 発 行 所 )																			
① MOUSA1 ② 音楽の研究ノート ③ ワークプリント ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】			自己のイメージをを持って音楽表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来ているか評価する。【レポート】【実技試験】			主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】						第 1 学期	4月 5月	歌唱…歌唱①校歌他（ポピュラー） 器楽…リコーダー①基礎 楽典…音楽理論①	6			
														6月 7月	鑑賞…舞台芸術に触れよう①（ミュージカル編） 器楽…リコーダー②ソロ 歌唱…歌唱②（ポピュラー） 実技テスト 筆記試験	10			
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）												
				B+		B-							第 2 学期	8月 9月	歌唱…歌唱③（心の歌） 鑑賞…舞台芸術に触れよう②（能楽・歌舞伎） 音楽史① 器楽…リコーダー②デュエット 楽典…音楽理論②	14			
知・技	基本的な知識や技能が十分に身についており、高い理解力がある。			基本的な知識や技能が概ね身についている。		基本的な知識や技能がある程度身についている。	基礎的な知識や技能、理解力が不足しており、実技発表に反映できていない。							10月 11月	歌唱…歌唱④（合唱） 鑑賞…世界の民族音楽 器楽…リコーダー③デュエット 楽典…音楽理論③ 実技テスト 筆記試験	14			
思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができている。			演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。			演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができている。						第 3 学期	12月 1月	創作…作曲 グループ発表 楽典…音楽理論④ 実技テスト 筆記試験	13			
	楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができている。			楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。			教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができている。							2月 3月	課題レポート（1年間のまとめ）	1			
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。			楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。			楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。						総 時 間 数			58			
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。			楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。			楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。												

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	芸術	履修形態	選択必修	学科	看護科											
科目名	美術 I	単位数	2	学年	1年								●			
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ ( 発 行 所 )																
① 高校美術 I (38-光村・美 I-701)																
②																
③																
④																
学 習 の 重 点 目 標																
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。																
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度							
評価の趣旨	①作品の出来具合によって評価する(作品完成度) ②レポートの出来具合によって評価する				①作品の表現力によって評価する(独創的・オリジナリティ) ②作品制作の進捗具合によって評価する				①授業態度(教師の観察) ②学習意欲(制作進捗度合い) ③提出物等				第 1 学期	4月 ～ 5月	【絵画】スケッチ 【デザイン】作品応募 【デザイン】文字のデザイン	6
評 価 の 基 準																
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)							
					B+		B-									
知・技	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができる。				基本的な知識や技術が程度理解できており、作品を作ることができる。		基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができる。		基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。				第 3 学期	8月 ～ 9月	【絵画】スケッチ 【デザイン】線の模様	14
思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。				第 2 学期	12月 ～ 1月	【絵画】スケッチ 【工芸】切り絵 【デザイン】ポートフォリオ	13
	自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができる。				自分の考えをある程度、表現することができる。				自分の考えを思い通りに表現することができていない。							
主体性・態度	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。				第 1 学期	4月 ～ 5月	【絵画】スケッチ 【デザイン】作品応募 【デザイン】文字のデザイン	6
	積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。				制作において、積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで制作に取り組めていない。							
総 時 間 数																
																58

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数			
教科名	外国語【英語】	履修形態	必修	学科	看護科															
科目名	英語コミュニケーション I	単位数	4	学年	1年															
教科書・副教材・(発行所)																				
① LANDMARK Fit English Communication I (啓林館) ② LANDMARK Fit English Communication I WORKBOOK (啓林館) ③ ④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																				
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。			ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりをなどを評価する。			日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。													
	評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)														
			B+		B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。												
	評 価 の 基 準																			
思・判・表	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。			英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。													
	評 価 の 基 準																			
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	評 価 の 基 準																			
			振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数																108				



# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	看護	履修形態	必修	学科	看護科													
科目名	看護情報	単位数	2	学年	1年									●				
教科書・副教材・(発行所)																		
① 新編 情報Ⅰ (東京書籍) ② 新編 情報Ⅰ 資料ノート (東京書籍) ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
(1) 情報を収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 看護情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (3) 看護情報に関する基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (4) 看護情報について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の健康に関する課題解決に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査 期末考査80点 ②実技テスト タイピング、文章作成、表計算、 スライド発表				①課題の内容 ②グループワーク・発表の内容				①授業中の態度や意欲 ②ふり返り				第2学期	8月	3	9月	5	7
														9月	7			
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)									
					B+		B-											
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。				定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30~54点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり				第3学期	10月	1	11月	1	12
														11月	1			
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。				課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。				課題にあまり取り組むことができていない。				第3学期	12月	13	1月		
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。				グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。				グループワークにあまり取り組むことができていない。					1月				
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。				予習・復習に取り組み、授業に参加できている。				あまり前向きな気持ちで授業に取り組めていない。				第3学期	2月	1	3月	1	1
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。				授業の内容についてふり返りができている。				授業の内容についてふり返りができていない。					3月	1			
																総 時 間 数		70

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数
教科名	看護	履修形態	必修	学科	看護科												
科目名	基礎看護	単位数	5	学年	1年									●			
教科書・副教材・(発行所)																	
① 教科書：基礎看護（文部科学省） ② 副読本：新看護学5・6・7 基礎看護（1）（2）（3）（医学書院） ③ 参考書：看護が見えるvol.1（メディックメディア）、看護が見えるvol.2（メディックメディア） ④ : ナーシング・グラフィカ 基礎看護学②、基礎看護③（メディカ出版）																	
学 習 の 重 点 目 標																	
看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的学習活動を行うことを通して、看護の基礎となる資質・能力を育成することを目的とする。																	
①看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②看護に関する基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③よりよい看護実践を目指して自ら学び、看護の課題解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																	
	知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査80点 知識を問うペーパーテストに加え、1学期期末、2学期中間、2学期期末は実技試験を実施。					①レポートの内容 実習終了毎にレポートを実施 ②グループ活動の取り組み グループ内で自分の考えをメンバーに伝える 振り返りの中での発言内容					①授業中の態度 ②放課後実習の取り組み状況（回数・内容） ③自己評価・振り返り 考査毎にワークシートを作成 自己評価や振り返りを実施						
	②確認テスト20点 前回の授業内容を中心に作問																
評 価 の 基 準																	
	A（十分満足できる状況）					B（概ね満足できる状況）					C（努力を要する状況）						
						B+		B-									
知・技	定期考査と確認テストの合計点数が80点以上であり、基本から発展まで満遍なく理解ができている。					定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						
思・判・表	レポート内に学習・実習での気づきや学びを適切にまとめることができている。					レポート内に学習・実習での気づきや学びをある程度まとめることができている。					レポート提出の遅れが見られ、最後まで粘り強く取り組むことができている。						
	授業や実習に積極的に取り組み、周囲に対し自分の考えを適切に伝えることができている。					授業や実習に真面目に取り組む、自分の考えを周囲に伝えようと努力している。					授業や実習への取り組みが消極的で、周囲とのコミュニケーションがとれていない。						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、放課後実習にも積極的に取り組んでいる。					学習・放課後実習に真面目に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習・放課後実習に取り組めていない。						
	振り返るべき内容を考えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにはあまり活かせていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができている。						
総 時 間 数																164	

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	看護	履修形態	必修	学科	看護科											学 習 内 容			
科目名	疾病の成り立ちと回復の促進	単位数	1	学年	1年									●	第1学期	4月	第1章疾病の成り立ちと病理学 A病理学を学ぶにあたって B臨床医学における病理学 C疾患の原因	1 1 1	
教科書・副教材・(発行所)																5月	① 新看護学3疾病のなりたち (医学書院) ② ③ ④ 中間考査	1	
学 習 の 重 点 目 標																6月	第2章疾病の成り立ち 基本的病変 A先天異常 B細胞・組織の障害と適応・修復	2 3	
看護の見方・考え方を働かせ、疾病の成り立ちと回復の促進に関する実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、看護の実践に必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 疾病の成り立ちと回復の促進について体系的・系統的に理解するようにする。 (2) 基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) よりよい看護の実践を目指して自ら学び、多様な人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む。																7月	期末考査	1	
知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											第2学期	8月	第2章疾病の成り立ち 基本的病変 C体液量の異常 D炎症 E代謝異常	2 2 2
評価の趣旨	①定期考査 1・2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題		①課題(ワークプリント)の内容 毎時間授業内容に関する課題 (ワークプリント)を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント、ワークプリントは指定通りファイルに綴じる ③ふり返り 毎授業時間ごとにBLENDを活用し「学びのポイント」を3つあげる											9月	中間考査	1
	評 価 の 基 準															10月	第2章疾病の成り立ち 基本的病変 F腫瘍	2	
A (十分満足できる状況)		B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											第3学期	11月	第3章おもな疾病のなりたち A呼吸器疾患 B循環器疾患 C消化器疾患 期末考査	1 2 2 1
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。		定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30~54点である。											12月	第3章おもな疾病のなりたち D血液・造血器疾患 E内分泌疾患 F脳・神経疾患 G運動器疾患	1 1 1 1
	B+		B-											第1月	2月	第3章おもな疾病のなりたち H腎・尿路疾患 I女性生殖器・乳腺疾患 J皮膚疾患 K感覚器の疾患 L膠原病 期末考査	1 1 1 1 1		
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。		課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。			課題にあまり取り組むことができていない。											3月	総 時 間 数	35
	主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。		予習・復習に取り組み、授業に参加できている。			あまり前向きな気持ちで授業に取り組めていない。												
毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。		授業の内容についてふり返りができている。			授業の内容についてふり返りができていない。														

# 学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	看護		履修形態	必修	学科	看護科	D	学	進	進	文	理	護					
科目名	人体の構造と機能		単位数	3	学年	1年							●					
<b>教科書・副教材・(発行所)</b>																		
① 教科書：新看護学1 人体の構造と機能（医学書院）																		
② 教科書：新看護学2 薬理 栄養（医学書院）																		
③																		
④																		
<b>学 習 の 重 点 目 標</b>																		
看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的学習活動を行うことを通して、看護の基礎となる資質・能力を育成することを旨とする。																		
①看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。																		
②看護に関する基本的な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。																		
③よりよい看護実践を目指して自ら学び、看護の課題解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																		
<b>知識・技能</b>						<b>思考・判断・表現</b>						<b>主体的に学習に取り組む態度</b>						
評価の趣旨	①定期考査80点 1、2学期 中間40点 期末40点 3学期 期末80点						①課題レポートの内容 単元毎にレポートを実施						①授業中の態度や意欲					
	②小テスト20点 単元毎に小テストを実施する						②グループ活動・発表の内容 授業後半に学習のまとめ活動を行い、発表をする						②レポートの提出状況 ③考査毎にノート・ファイルを提出 ④考査後に自己評価や学習の振り返りを実施					
<b>評 価 の 基 準</b>																		
知・技	A（十分満足できる状況）						B（概ね満足できる状況）						C（努力を要する状況）					
							B+			B-								
思・判・表	定期考査と小テストの合計点数が80点以上であり、基本から発展まで満遍なく理解ができている。						定期考査と小テストの合計点数が55～79点である。						定期考査と小テストの合計点数が30～54点である。					
	レポートに課題を適切にまとめ、適切に表現することができる。						レポートに課題をまとめることはできている。						レポート提出に遅れが見られ、内容にも不足が多い。					
主体性・態度	グループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを伝えたり、周囲への働きかけができている。						真面目にグループ活動に取り組む、自分の意見を伝えようと努力している。						グループ活動にあまり積極的に取り組むことができない。					
	予習・復習に積極的に取り組み、授業にも積極的に発言し参加しようとしている。						予習・復習に真面目に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
主体性・態度	振り返るべき内容を考えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにはあまり活かせていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができない。					
	<b>総 時 間 数</b>																	
																98		

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文	2	看護科 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
標準現代文B	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代以降の様々な作品に接し、読解力、思考力、表現力を養う。</li> <li>・漢字、ことばの学習を通して、語句の定着を図る。</li> </ul>
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の流れを理解し、現代文の鑑賞力を高める。</li> <li>・基本的な漢字の読み書きができるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字書取の小テスト</li> <li>・提出物の状況</li> <li>・授業の取り組みと姿勢</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	「私」という「自分」 中間考査
	5	
	6	調律師のるみ子さん 新しい地球観
	7	【期末考査】
第2学期	8	永訣の朝 情けは人の……
	9	
	10	【中間考査】 ナイン
	11	名所絵はがきの東西 【期末考査】
第3学期	1	こころ
	2	
	3	【期末考査】
	4	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
現代文B	3	看護 コース	4	国語科

使用教科書等	出版社
改訂版 標準現代文B	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代以降の様々な作品に接し、読解力、思考力を養う。</li> <li>・漢字、ことばの学習を通して、語句の定着を図る</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の理解</li> <li>・漢字、語句の習得</li> <li>・文学史の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字書取の小テスト</li> <li>・ノート、課題の提出</li> <li>・授業に取り組む姿勢</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		第2部 随想「ワスレナグサ」星野道夫  随想「食と想像力」辺見庸 【中間考査】 小説「話を聞かせて」山本文雄
第2学期		読書感想文の書き方 詩「食事」高階杞一 他  評論「記憶のゆがみ」高橋雅延 【中間考査】 小説「卒業」魚住直子 小説「山月記」中島敦  【期末考査】
第3学期		評論「新しい博物学を」池内了  【期末考査】  まとめ学習

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
日本史 A	2	看護 コース	2	地歴科

使用教科書等	出版社
日本史 A 現代からの歴史	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	近代史を理解し、今日の日本の基盤を考察させ、エピソードなどを交えて興味や関心を持たせる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物や出席状況、学習状況</li> <li>ノートの取り方、創意工夫</li> </ul>
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容	
第1学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 近代日本の形成</li> <li>1. 国際情勢の変化と明治維新</li> </ul>	
	5		中間考査
	5		2. 明治新政府の諸改革
第2学期	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 立憲国家の成立</li> <li>第2章 東アジア世界の変動と日本</li> <li>1. 日清戦争と近代社会の確立</li> </ul>	
	6		中間考査
	6		2. 日露戦争と帝国日本の形成
第3学期	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3章 二つの世界大戦と日本</li> <li>1. 第一次世界大戦と帝国日本</li> <li>2. 政党政治の時代</li> </ul>	
	10		中間考査
	11		2. 政党政治の時代
	12	期末考査	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
世界史 A	3	看護 コース	2	地理歴史

使用教科書等	出版社
世界史A	東京書籍

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	世界史の展開を追いながら、それが現代社会にどのような影響を与え、どのような問題点を発生させたかといった歴史的思考力を養うことを主眼とする。また各地域の文化の多様性・複合性などにも触れながら歴史を大観的にとらえさせる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	基本的な歴史事項はもとより、1つ1つの事項の背景に何があるのかを問う。また単なる用語の理解にとどまらず、それぞれの単元の主題がきちんととらえることができているかどうかを確認する。 中間・期末考査を行う。	普段の授業態度・提出物等で評価する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	四 ～ 五	第1部 近・現代世界史の背景～諸地域世界とその交流～ 第1章 ユーラシアの諸地域世界 【中間考査】
	五 ～ 六	第1章 ユーラシアの諸地域世界 第2章 ユーラシアの交流圏 【期末考査】
第2学期	七 ～ 十	第2部 成熟するアジアと世界へ向かうヨーロッパ 第3章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ 【中間考査】
	十 ～ 十一	第4章 太平洋世界の変容とその波及 第5章 産業化社会の拡大と成熟 【期末考査】
第3学期	十二 ～ 一	第6章 アジア諸国の変貌と日本及び学年のまとめ 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学A	2	看護 コース	3	数学科

使用教科書等	出版社
改訂版 新編数学 I / 改訂版 新編数学A 改訂版 Study-Upノート 数学 I / 数学A	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念や公式を十分に理解する。</li> <li>・問題集で計算力や応用力を高め、数学的な思考力や表現力を養う。</li> <li>・他者と対話しながら、協働して学習する姿勢を身に付ける。</li> </ul>
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。 各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	授業に取り組む姿勢や、家庭学習への取り組み姿勢を確認する。 授業態度、レポートやノートの提出により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	<数学 I > 第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用  【中間考査】  第5章 データの分析  【期末考査】
	5	
	5	
	6	
	7	
第2学期	7	<数学A> 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数  【中間考査】  第1章 場合の数と確率 第2節 確率  【期末考査】
	8	
	9	
	10	
	11	
第3学期	1	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2章 図形の性質 第2節 空間図形  【期末考査】
	2	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
数学A	3	看護科	2	数学

使用教科書等	出版社
新編数学A/Study-Upノート数学A	数研出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識や技能の習得を図り、事象を数学的に考察する能力を養う。</li> <li>・自学自習の習慣を身につけ、看護師国家試験に向かう学力を養う。</li> </ul>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	授業で学習する基本的な内容の理解度を確認する。また、問題集や参考書にある応用的な内容への取り組みとその理解度を確認する。各学期ごとに中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	授業に取り組む姿勢や、家庭学習への取り組み姿勢を確認する。授業態度、レポートやノートの提出により評価を行う。
割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 5	第1章 場合の数と確率・・・2年次で学習済み 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【中間考査】
	5 5 7	第2章 図形の性質 第2節 空間図形 【期末考査】・・・臨地実習があるため実施しない。
第2学期	7 5 1 0	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 【中間考査】
	1 0 5 1 2	第3章 整数の性質 第2節 ユークリッドの互除法 第3節 整数の性質の活用 【期末考査】
第3学期	1 2 5 1	看護師国家試験対策 数学I・Aの総復習 計算問題の訓練 【期末考査】
	1 5 3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
化学基礎	2	看護科 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
高校 化学基礎 新訂版	実教出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	物質の性質や反応、あるいは構造を調べることにより物質の特徴を理解し、物質に関する原理・法則を化学的に考察する能力と態度を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(3学期は期末考査のみ実施)	日頃の出席状況、学習に取り組む姿勢や態度、副教材や課題などの提出物により総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 5	第1章 物質の構成 第1節 物質の探究 第2節 物質の構成粒子 【中間考査】
	5 5 7	第2章 物質と化学結合 第1節 イオン結合 第2節 共有結合 【期末考査】
第2学期	7 5 1 0	第3節 金属結合 第4節 粒子の結合と結晶 【中間考査】
	1 0 5 1 1	第3章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸と塩基 【期末考査】
第3学期		第3節 酸化還元反応 まとめ学習 【期末考査】
	1 2 5 3	問題演習、実験等

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	2	看護 コース	2	理科

使用教科書等	出版社
改訂 高等学校 生物基礎／改訂 高等学校 生物	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	生物や生物現象への理解を深め、科学的に探求する能力や態度を育むとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方・考え方を養う。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各期の考査によって、それぞれの学習範囲の理解度・知識力・考察力の評価を行う。[三学期は期末考査のみ実施]	日常の授業への取り組みや授業態度、課題等の提出物によって評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	第3章 生物の体内環境 2 体内環境の維持のしくみ 3 生体防御
	5	第4章 植生の多様性と分布 1 植生と遷移 2 バイオームとその分布 【中間考査】
	5	第5章 生態系とその保全 1 生態系 2 生態系のバランスと保全
	5	第1章 細胞と分子
	6	1 生体物質と細胞 【期末考査】
第2学期	7	2 細胞膜の働きとタンパク質 3 さまざまなタンパク質
	5	第2章 代謝
	9	1 代謝とエネルギー 2 炭酸同化 【中間考査】
	10	3 窒素同化 4 異化
	11	【期末考査】
第3学期	1	第3章 遺伝情報と発現
	2	1 遺伝情報とその発現 2 遺伝子の発現調節 3 バイオテクノロジー 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生物	3	看護 コース	3	理科

使用教科書等	出版社
改訂 高等学校 生物	第一学習社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	身近な自然界のさまざまな事象を生物学的に理解することによって、そこから自主的に問題を発見し、生物学的な探求の過程を通して科学的な思考力、判断力、および表現力を養う。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、中間考査、期末考査を実施し、その得点で評価を行う。(第3学期は期末考査のみ実施)	日頃の出席状況や学習に取り組む姿勢や意欲、ノートや副教材、課題等の提出物によって総合的に評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 5	第2章 代謝 第3節 窒素同化 第4節 異化  【中間考査】
	5 5 7	第3章 遺伝情報の発現 第1節 遺伝情報とその発現 第2節 遺伝子の発現調節  【期末考査】
第2学期	8 5 1 0	第3節 バイオテクノロジー 第4章 生殖と発生 第1節 有性生殖における遺伝的多様性 第2節 動物の配偶子形成 第3節 動物の発生 第4節 動物の発生における形態形成のしくみ 第5節 植物の発生 【中間考査】
	1 0 5 1 2	第5章 生物の環境応答 第1節 植物の環境応答 第2節 動物の環境応答 第3節 動物の行動 第6章 生物群集と生態系 第1節 個体群と生物群集 第2節 生態系の物質生産 第3節 生態系と生物多様性 【期末考査】
第3学期	1	第7章 第1節 進化のしくみ 第2節 生物の起源と生物の変遷 第8章 第1節 生物の分類の変遷と系統 第2節 生物の系統関係 【期末考査】

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	2年	看護科(男女) コース	3	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active Sports 2021 [総合版]	大修館書店

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、身体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。3学期は中間考査を実施。	計画的に、自ら進んで行うことで運動の楽しさや喜びを味わう。健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト② 高校生体操テスト
	6	◇陸上競技 (◇サッカー パス&コントロール トリプル 対人) 走り幅跳び 砲丸投げ ●実技テスト
第2学期	7	◇スポーツテスト②・体づくり運動 ◇ハンドボール パス・ジャンプシュート シュート 対人練習 (1対1・3対2)・ゲーム ●実技試験
	11	◇バレーボール パス (アンダーハンドパス ・ オーバーハンドパス) サーブ ・ スパイク ゲーム ●実技試験
第3学期	12	◇バスケットボール パス ・ ドリブル シュート (ランニングシュート ・ ジャンプシュート) 対人練習 (1対1 ・ 3対2の攻防)・ゲーム ●実技試験
	3	◇体育理論 ◆期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
体育	3	看護科(男女)	2	保健体育科

使用教科書等	出版社
Active SPports 2020 [総合版]	大修館出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	運動技能	知識・理解	関心・意欲・態度
趣旨・基準	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高める。 体力向上のために運動の合理的な行い方を身に付ける。	運動の意義や必要性を理解する。 運動の特性と合理的な行い方を理解し、その知識を身に付ける。 3学期は期末考査を実施	計画的に、自ら進んで行うことで、運動の楽しさや喜びを味わう。 健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。
評価割合	約50%	約30%	約20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	◇オリエンテーション ◇スポーツテスト①(運動能力テスト) ◇体づくり運動 ◆実技試験(高校生体操) ◇バドミントン ◇サッカー 実技理論(ルール)
	5	◆実技試験(ドリブル・シュート) ゲーム
第2学期	7	ゲーム(チーム編成) ◇スポーツテスト②(体力診断テスト) ◇バレーボール 実技理論(ルール) ◆実技試験(パス・レシーブ・サーブ)
	10	ゲーム(チーム編成) ◇バスケットボール 実技理論(ルール) ◆実技試験(パス・ドリブル・シュート) ゲーム(チーム編成)
第3学期	12	◇実技理論(サッカー・バレーボール・バスケットボール) ◇体育理論(3単元 豊かなスポーツライフの設計) ◆期末考査(40点)
	2	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅱ	2	看護科 コース	3	英語

使用教科書等	出版社
Grove English Communication II New Edition	文英堂

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①易しい英語の文章を理解する能力を養う。 ②それに必要な基本的文法及び構文を学習する。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストのでき具合により評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月・5月	Lesson 1 Mt. Fuji: The Pride of Japan
	5月・6月	Lesson 2 Yes, I do Climb Ahima Shiraiishi
	7月・9月	Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet
第2学期	11月12月	Lesson 4 Warka Water
	1月	Lesson 5 A Hidden History of Tomatoes
第3学期	2月	Lesson 6 Iceland

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
コミュニケーション英語Ⅱ	3	看護科 コース	3	英語

使用教科書等	出版社
Grove English Communication II New Edition	文英堂

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①音読を通して、コミュニケーションへの関心・意欲・態度を養う。 ②情報や考えを的確に理解する。 ③自分の意見や考えを適切に表現する。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	日常の学習態度、出席状況、課題や提出物の提出状況を総合的に判断して評価を行う。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 ~ 5	Lesson 6 Iceland
	5 ~ 7	
第2学期	7 ~ 10	Lesson 7 Which Jam Would You Like? Lesson 8 Paper Building
	10 ~ 12	Lesson 9 Lunch Delivery in Mumbai Lesson 10 Saving Wildlife from Global Warming
第3学期	1	2 Rickshaw Girl by Mitali Parkins

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
看護情報処理	3	看護科 コース	2	看護科

使用教科書等	出版社
新版 看護情報処理	実教出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	情報機器の活用に向けた基礎能力の習得を目指す。 看護現場における情報システムの理解を深める。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

項目	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
趣旨・基準	情報社会に関心をもち、看護の問題を解決するために進んで情報および情報技術を活用しようとする。授業態度、出席状況で評価をする。	情報活用の方法を工夫したり、改善したりするとともに、情報モラルをふまえた適切な判断をする。授業ノート、課題レポート等により評価をする。	情報の収集・選択・処理を適切に行うとともに、情報を目的に応じて表現する。課題作品、発表により評価をする。	情報および情報技術を活用するための知識を身につけ、情報の意義や役割を理解している。各学期毎に実施する定期考査で評価をする。
評価割合	約20%	約20%	約20%	約40%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	1 高度情報通信社会とコンピュータ 2 高度情報通信社会への対応のしかた 課題・ルールとマナー3 コンピュータの機能 ハードウェア ソフトウェア 4 情報の処理 日本語ワードプロセッサ
	5 7	
第2学期	7	4 情報の処理 表計算ソフト 画像処理ソフト 5 情報の収集・処理・発信 情報の収集 プレゼンテーションソフトを利用した情報の発信 電子メールソフトを利用した情報の受信・送信
	5 1 2	
第3学期	1 2	6 看護とコンピュータ 看護におけるコンピュータの活用 病院における看護情報システム 地域医療における看護情報ネットワーク  個人情報保護
	5 3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
人体と看護(微生物)	2	看護科 コース	1	看護

使用教科書等	出版社
人体と看護 新看護学2 専門基礎【2】	文部科学省 医学書院

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①よりよい看護の実践を目指して自ら学び、多様な人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 ②生活行動や基本的な課題を発見し、看護の合理的、創造的に解決する能力を養う
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間・期末考査	確認小テスト
評価割合	80%	20%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 6月	第1章 微生物の基礎知識 中間考査
		第2章 細菌 期末考査
第2学期	7 8 9月	第2章 細菌 中間考査
	10 11 12月	第2章 細菌 第3章 ウイルス 期末考査
第3学期	1 2 3月	第3章 ウイルス 期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
疾病と看護(薬理・病理)	2	看護科 コース	2	看護

使用教科書等	出版社
疾病と看護 新看護学2 新看護学3	文部科学省 医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<p>&lt;病理&gt;看護の科目と関連付け、疾病の予防、早期発見、病態と治療、回復の促進の基礎的な知識を定着させ、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> <p>&lt;薬理&gt;薬理の基礎的内容を、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、臨床実習と関連付けて取り組む態度を養う。</p>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間・期末考査	確認小テスト
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 6月	<p>&lt; 病理 &gt; 疾病のなりたちと病理－基本的病変(先天異常・細胞・組織の障害と適応・修復体液循環の異常)</p> <p>&lt; 薬理 &gt;薬物に関する基礎知識 抗感染症薬 抗悪性腫瘍薬 免疫抑制薬 中間・期末考査</p>
	7 8 9月	<p>&lt; 病理 &gt;疾病のなりたちと病理－基本的病変( 炎症・代謝障害 )</p> <p>&lt; 薬理 &gt;抹消神経に作用する薬物 中枢神経系に作用する薬物 抗アレルギー薬・抗炎症薬 解熱鎮痛薬・痛風治療薬 心臓・血管・血液系に作用する薬物 中間・期末考査</p>
第3学期	1 2 3月	<p>&lt; 病理 &gt;疾病のなりたち－基本的病変 ( 腫瘍 )</p> <p>&lt; 薬理 &gt;呼吸器・消化器系に作用する薬物 泌尿器・生殖器系に作用する薬物 物質代謝に作用する薬物 期末考査</p>

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生活と看護(生活と健康)	2	看護科 コース	1	看護

使用教科書等	出版社
看護基礎医学1	教育出版

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	人間を取り巻く環境要因と健康との関わりを取り上げ、健康を保持増進させる為には環境の保全が大切であることを学ぶと共に個人及び集団の健康水準に影響を及ぼす要因について理解する。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	ペーパーテスト	確認テスト 課題レポート 授業態度
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		1. 生活環境と健康 1) 生態系の中の人間 2) 生活環境と健康  中間テスト 2) 生活環境と健康  期末テスト
		3) 環境因子と健康 4) 水 中間テスト  5) 空気 6) 環境の管理  期末テスト
第3学期		7) 衣食住と健康  期末テスト

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
基礎看護	2	看護科 コース	2	看護

使用教科書等	出版社
基礎看護 新看護学7	文部科学省 医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1. 看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割を理解する 2. 日常生活の援助等看護に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させる 3. 看護を適切に行う能力と態度を育てる
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	筆記テスト 実技テスト(1学期、3学期)	確認テスト、授業態度 レポート(課題) 実技練習状況
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	1 診察・検査と看護 2 与薬(内服)
	5	
	7	
第2学期	7	3 与薬(坐薬・注射)
	1	
	2	
第3学期	1	3 与薬(注射) 4 排(浣腸) 5 吸入・酸素吸入 6 まとめ学習(弱点強化活動)
	2	
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
看護臨地実習(基礎)	2	看護科 コース	3	看護科

使用教科書等	出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	健康障害により日常生活が規制されている対象の身体的・精神的・社会的特徴について理解させ、看護活動の基礎となる知識・技術・態度を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	臨床評価	実習記録評価
趣旨・基準	実習記録評価の手引きに沿って、臨床側の評価	実習記録評価の手引きに沿って、学校側の評価
評価割合	40%	60%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		
第2学期	10 11	実習要項に沿って病院で実習
第3学期		

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
成人看護	2	看護科 コース	2	看護

使用教科書等	出版社
成人看護学① 成人看護[1] 成人看護総論/呼吸器/循環器/消化器 患者さんの情報収集ガイドブック 看護学生のための臨池実習ナビ	医学書院 メジカルフレンド社 照林社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	成人期にある対象の生活、保健および疾病について理解させ、成人看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	筆記試験	授業態度、ノート等提出状況、小テスト
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 6	臨実Ⅰa:成人看護総論 臨実Ⅰb:施設実習(記録を中心に)について 臨実Ⅱ:循環器疾患患者の看護 成人看護:消化器・呼吸器疾患患者の看護
	7 8 9 10 11	臨実Ⅰa:治療・処置を受ける患者の看護 臨実Ⅰb:施設実習、病院実習について 臨実Ⅱ:循環器疾患患者の看護 成人看護:循環器疾患患者の看護
第3学期	1 2 3	臨実Ⅰa:内科的治療・処置を受ける患者の看護 臨実Ⅰb:病院実習について 臨実Ⅱ:循環器疾患患者の看護 成人看護:消化器・呼吸器疾患患者の看護

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
老年看護	2	看護科 コース	2	看護科

使用教科書等	出版社
高等学校用 老年看護 新看護学13 老年看護	文部科学省 医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	高齢者の加齢に伴う身体的・精神的・社会的特徴について理解し、日常生活の障害や疾患をもつ高齢者の援助を学ぶ。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間考査40点 期末考査40点	小テスト・課題提出状況・課題内容の状況
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 7	1章 高齢者の理解 2章 高齢者を取り巻く社会と社会システム 3章 高齢者の暮らしを支える看護の視点 4章 高齢者の暮らしを支える看護の実際
第2学期	7 5 1 2	5章 高齢者の病態・疾患と看護 6章 治療。検査を受ける高齢者の看護 7章 高齢者が豊かに生きるために
第3学期	1 2 5 3	8章 高齢者の暮らしの場と看護

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
看護臨地実習(老年)	2	看護科 コース	1	看護

使用教科書等	出版社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	高齢者の加齢に伴う身体的・精神的・社会的特徴について理解させ、高齢者に対する適切な看護を行うための能力と態度を養う。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	臨床評価	実習記録評価
趣旨・基準	実習記録評価の手引きに沿って、臨床側の評価	実習記録評価の手引きに沿って、学校側の評価
評価割合	40%	60%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期		
第2学期	9	実習要項に沿って介護老人福祉施設で実習
第3学期		

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
人体と看護(栄養)	3	看護科 コース	1	看護

使用教科書等	出版社
新看護学3 専門基礎【3】	医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①人体の構造と機能について体系的・系統的に学び、基礎知識を理解することができる。 ②健康な生活を送るために重要な食生活・栄養について、主体的に学ぶことができる。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間・期末考査	確認テスト
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 6月	①食生活・栄養と看護 ②栄養素の種類とはたらき(タンパク質) 中間考査 ③栄養素の種類とはたらき(脂質、糖質)
第2学期	7 8 9 10 11月	④栄養素の種類とはたらき(食物繊維、ビタミン、ミネラル、水) 中間考査 ⑤日本人の食事摂取基準 ⑥栄養素の消化・吸収・代謝(消化器系の機能、食物摂取と消化・吸収・代謝) 期末考査
第3学期	12 1 2月	⑦エネルギーの摂取と消費(食品のエネルギー、体内のエネルギー、エネルギー消費) 期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
疾病と看護(病態)	3	看護科 コース	2	看護

使用教科書等	出版社
疾病と看護 成人看護[2]、成人看護[3]	文部科学省 医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	看護を行うために必要な疾病の成り立ちと回復の過程に関する基礎的な知識を習得する。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	筆記試験	単元終了後に確認テストを実施し、平均する。 授業態度、提出物なども加味する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 6	腎泌尿器疾患患者の看護
第2学期	7 8 1 2	腎泌尿器疾患患者の看護
第3学期	1	血液疾患患者の看護

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
生活と看護(精神保健・保健医療)	3	看護科 コース	2	看護

使用教科書等	出版社
看護学入門13 精神看護 新看護学4 保健医療と福祉のしくみ看護と法律	メジカルフレンド社 医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	<p>&lt;精神保健&gt;よりよい看護の実践を目指して自ら学び、多様な心身の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p> <p>&lt;保健医療&gt;公衆衛生の基本的な内容と保健、医療、福祉の基本的な制度と関係する法規を看護活動と関連づけて、主体的、協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間・期末考査	確認小テスト
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 6月	<p>&lt;精神保健&gt; ①精神保健福祉のとらえ方      ②精神保健福祉の定義</p> <p>&lt;保健医療&gt; ①健康とは    ②公衆衛生・保健とは    ③人口静態    ④人口動態（出生・死亡・死因）</p>
	7 8 9月	<p>&lt;精神保健&gt; ①心の健康と発達      ②心の働きと危機 ③防衛機制              ④環境と心の健康      ⑤ライフサイクルにおける心の危機</p> <p>&lt;保健医療&gt; ①衛生行政・母子・学校保健      ②成人・老人保健    ③産業・難病保健    ④環境・公害・食品 ⑤医療を提供するしくみ    ⑥分野別医療提供    ⑦医療保障のしくみ    ⑧高齢年金    ⑨介護保険</p>
第3学期	1 2 3月	<p>&lt;精神保健&gt; ①精神医学の歴史      ②精神保健福祉の歴史      ③法制度の変遷</p>
	4 5 6月	<p>&lt;保健医療&gt; ①労働(労災・雇用)保険    ②生活保護制度・社会手当    ③社会福祉(高齢者、児童、母子・父子・寡婦福祉)</p>

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
看護臨地実習(基礎)	3	看護科 コース	2	看護科

使用教科書等	出版社
成人看護[2][3][4] 看護学生のためのレポート&実習記録の書き方	医学書院 メヂカルフレンド社

1. 学習の重点目標

学習の重点目標	看護の基礎的要素を基盤とした日常生活の援助活動が実践できる能力を養う。対象を身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解する。
---------	--

2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	実習記録評価の手引きに沿って、臨床側の評価	実習記録評価の手引きに沿って、学校側の評価
評価割合	40%	60%

3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	6 5 7	実習要項に沿って実習
第2学期		
第3学期		

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
成人看護	3	看護科 コース	3	看護

使用教科書等	出版社
成人看護[2][3][4] 看護学生のためのレポート&実習記録の書き方	医学書院 メヂカルフレンド社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	1 健康上の問題・疾患(内分泌・代謝疾患、脳神経疾患、運動器疾患、皮膚・感染症疾患、感覚器疾患)をもつ成人期にある対象の回復への援助の方法について理解できる。 2 ゴードンの機能的健康パターンに基づいた看護過程の展開を行うための、基本的な知識を理解できる。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間・期末考査	小テスト・課題・提出物・授業態度
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4	内分泌・代謝疾患患者の看護 脳神経・運動器疾患患者の看護 看護過程
	5	
5		
6		
7		
第2学期	7	内分泌・代謝疾患患者の看護 脳神経・運動器疾患患者の看護 皮膚・アレルギー・膠原病・感染症患者の看護
	8	
	9	
	10	
第3学期	1	内分泌・代謝疾患患者の看護 脳神経・運動器疾患患者の看護 看護過程
	2	
	3	
	4	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
母性看護	3	看護科 コース	1	看護科

使用教科書等	出版社
新看護学14 母子看護	医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	母性看護に関する知識と技術を習得させ、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間考査40点 期末考査40点	確認テスト・課題提出状況・課題内容の状況
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5	母性の概念、母性の特徴、母性看護の意義と役割、母子保健の沿革、母子保険統計による動向と対策 中間考査
	5 7	女性の権利と自己決定への支援、ライフサイクル各期の特徴と看護
第2学期	7 10	正常な妊婦の看護、正常な産婦の看護 中間考査
	10 11	正常な褥婦・新生児の看護 期末考査
第3学期	1 2	周産期の母児の疾患と看護 期末考査
	3	

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
小児看護	3	看護科 コース	1	看護科

使用教科書等	出版社
母子看護 新看護学14 母子看護 小児の発達と看護、小児看護技術	文部科学省 医学書院 ナーシング・グラフィカ

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	小児の特質、生活、保健及び疾病について理解し、小児の看護に関する知識と技術を習得するとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を身につける。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	1. 授業内容の理解 2. 中間考査40点・期末考査40点のペーパーテスト	1. 単元ごとの小テストを20点として評価する。
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4月 5月	第1章 小児看護概論 A. 子どもとは B. 小児看護とは C. 小児看護を取り巻く環境 小児看護の基礎 A.子どもの成長・発達と生理
	7月	中間考査
第2学期	8月 9月	第2章 小児看護の基礎 B. 子どもの成長・発達と生理 C. 子どもの栄養 中間考査
	12月	D.子どもの養護としつけ E. 疾病の予防と予防接種 期末考査
第3学期	1月	F. 子どもの精神保と社会 G. 子どもと社会 第3章 子どもの診療と看護 A.母子保健の動向 B.入院環境と患児・家族へのかかわり C.小児看護の基礎技術 期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
精神看護	3	看護科 コース	1	看護

使用教科書等	出版社
看護学入門 精神看護 精神看護の基礎	メジカルフレンド社 文科省 医学書院

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	①よりよい精神看護の実践を目指して自ら学び、人々の心身の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
---------	---

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	中間・期末考査	確認小テスト
評価割合	80%	20%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	4 5 6	①精神看護の基本 ②現代社会と看護師の役割 ③患者－看護師関係 ④観察の基本 ⑤記録 ⑥コミュニケーション 中間考査
	7 8 9 10 11	①精神障害者とのコミュニケーション ②診療と検査 ③治療体系(薬物療法) ④薬物・身体療法 ⑤精神・行動療法 ⑥精神障害の症状(1) ⑦精神障害の症状(2) ⑧精神状態と症候群 中間考査
第2学期	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	①認知症性老年精神障害 ②老年期精神障害 ③てんかん(疾患と看護) ④アルコール関連障害 ⑤統合失調症・分類 ⑥統合失調症・看護 ⑦気分(感情)障害・うつ病 期末考査
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	①気分(感情)障害・躁病 ②気分(感情)障害・看護 ③反応性または抑うつ精神病 ④神経症性障害・ストレス関連障害 ⑤発達障害 期末考査

科目名	対象		単位数	担当教科
	学年	コース		
看護臨地実習(成人)	3	看護科 コース	2	看護科

使用教科書等	出版社
成人看護[2][3][4] 看護学生のためのレポート&実習記録の書き方	医学書院 メヂカルフレンド社

### 1. 学習の重点目標

学習の重点目標	成人期にある対象を総合的に理解し看護活動の基礎となる知識・技術・態度を習得する。
---------	--

### 2. 評価の観点の趣旨、評価基準、評価割合

	定期考査	平常点
趣旨・基準	実習記録評価の手引きに沿って、臨床側の評価	実習記録評価の手引きに沿って、学校側の評価
評価割合	40%	60%

### 3. 学習計画等

期間	月	学 習 内 容
第1学期	6 5 7	実習要項に沿って実習
第2学期		
第3学期		